

風速信号変換盤 設置ガイド

AKT/0

警告！！

安全のため、全ての配線が終了したあと、1次電源を接続して下さい。
感電の危険があります。ご注意下さい。

注意！

電源は、AC100Vです。
その他の電圧で使用すると故障します。ご注意下さい！

注意！

端子台の信号線接続部分に、電圧を印加すると故障の原因となります。
配線接続時に、ご注意下さい！

設置配線方法（風速計OT-902との接続方法）

- 1 風速信号変換盤を任意の場所にインシュロックやビスなどで固定します。
- 2 蓋を開けます。
- 3 風速計の検知部（風杯）より配線されたケーブルを、「V+」「V-」に接続します。
(指示部は、使用しません。)
- 4 電源の配線が接続されていることを確認します。
外れている場合、「L」「N」「E」に、それぞれの線を接続下さい。
(100V用のコンセントがついている配線です。)
- 5 ご準備された電源が、AC100Vであることを確認し、コンセントを差込みます。
- 6 盤内左上の、ブレーカーをONにして下さい。



アナログ信号機器との接続方法

- 1 端子台の「+」「-」を使用します。
- 2 直流アナログ信号（DC4-20mA）に対応した機器より配線します。
- 3 機器よりの配線を、DC4-20mA+を「+」に、DC4-20mA-を「-」に接続します。
- 4 必要に応じて、各機器でのスケーリング等を調整して下さい。

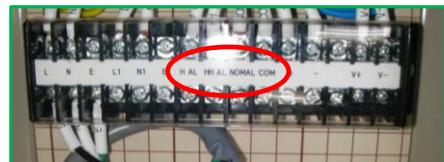
出荷時、出力値は
風速 0m = DC 4mA
風速60m = DC20mA
上記にて設定されています。



警報接点への接続方法

- 1 1次警報接点を使用する場合、「H AL」「COM」へ接続します。
- 2 2次警報接点を使用する場合、「HH AL」「COM」へ接続します。
- 3 通常時に出力する接点を使用する場合、「NOMAL」「COM」へ接続します。

出荷時、設定
1次警報 風速10m
2次警報 風速15m
上記を超過すると、接点が短絡します。
設定した風速を下回ると、10秒間
警報出力を保持したのち、停止します。



2014.07.01